

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (NPO-IRI)
(2018年) 平成30年6月 通常総会 決定

通常総会 スケジュール

- 【日時】2018年6月23日(土) 於 IRI本部 会議室
14:00 記念集合写真撮影 (希望者 全員)
14:00~17:00 IRI総会
17:00~17:30 IRI本部内 実験室見学/懇談 (全員参加可) / この間 IRI理事会
17:30~19:30 懇親会 場所 IRI本部 懇親会費 当日徴収 2千円(全員参加歓迎)

<IRI本部所在地>

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 ユウキビル 4階 40A IRI

電話：043-255-5481 FAX：043-255-5482

地図ご参照：<http://www.a-iri.org/iri-jp/irimap.pdf>

(白い小規模5階建て、ビルの手前を左折し 右に入口、1階ピザハット店)

JR 総武線快速 稲毛駅 東口徒歩15分。東口からのバスで「ファミリーハイツ行き」
もしくは「草野車庫行き」バス停 園生団地入口前 直前。

総 会 議 事

1. 審議事項

- 1.1 平成29年度 事業報告 <資料① p.2>
1.2 平成29年度 決算報告 <資料② p.9>
1.3 平成29年度 監査報告 <資料③ p.12> <監査報告書 p.20>
1.4 平成30年度 事業計画 含む、「一般財団法人」等、他の組織を設立する。
<資料④p.12、⑧組織表・組織図 p.18,19>
1.5 平成30年度 予算計画 <資料⑤ p.15>
(解説)平成30年度 活動予算書は、予期せぬ大きな委託などが入り、予算額をオーバーして使用するには、総会を再度開き承認を得なくてはならないので、決してオーバーしない金額を入れてある。
通常での実施は、参考資料:平成30年度 活動予算書 実施指針 <資料⑥ p.16>に沿う。
1.6 平成30年度 役員選出 <資料⑦ 「役員名簿」 p.17>

2. 討議事項

- 2.1 今後の発展方向など
2.2 その他

1.1 平成 29 年度 事業報告

<理事会/総会 審議事項①>

(法第 10 条第 1 項関係様式)

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の報告

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、等に関する研究と成果の普及を行った。
- (2) 保健、医療、福祉事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等を行った。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	100	国内外一般人 多数	12,039
保健、医療、福祉事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	80	国内外一般人 多数	6,315
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催、関連出版等支援、等	通年	東京、神奈川	60	国内外研究者、一般人 多数	3,320

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

本部 ならびに 情報・研究センター 報告

本部 報告 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進した。

他法人設立の推進 ここ数年継続してきた NPO 以外の「他の法人」の設立の検討の結果を下記する：

- 1) 信頼性や税制面などでの特典の多い、公益法人化(「公益財団法人」等)への移行は、かなり難しく、また、その運用は変更がすぐにはできない等、困難を伴うので、将来を目指す。
- 2) しかし、「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性や大型スポンサー候補等との関係では、必要に応じ設立する事を目指す。
「他の法人」を設立しても、現在の NPO 法人は残す必要が弘前支部の活動などで濃厚となっている。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、予算処置を含め継続した。

・ I R I 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

「いやしのビル」計画企画委員会(IP)を 2013 年 6 月 IP 設立以来、毎年の IRI 定例総会の承認を得て、「保健、医療、福祉事業」等に位置付け、情報研究センター内に「いやしのビル」計画企画委員会を立ち上げ、予算処置を含め、推進してきた。

IRI 全体の本拠との関連が深く、規模が大きいので、特別に、本部の項目に記す。

この間、「いやしのビル」計画企画委員会(IP)・討論会・戦略会議など十数回の会議を開催し、推進してきた。

会員の紹介によるある地主様の土地やある団体の所有地に関し、その実現の可能性の有無を土地調査・概要図面作成など具体的に検討してきたが、地主様の体調などの関係で、本件は中断している。

大型スポンサー候補との関係にての実現の方法などの検討と交渉を継続している。また、公共・準公共用地での共同事業のアイデアも出たので、検討と有力者との関係構築を継続している。

本委員会設立時は、単に絵に描いた餅に過ぎなかったが、これらの活動を継続し、具体化に繋げたい。

但し、都心の地価が異常に高騰しているので、下落するまで待たなければならないかもしれない。

大型スポンサー候補等との関係で、当初の計画と別な形での目的実現の可能性も存在している。

本年度は、まだ企画段階で、物件が確定出来なかったため、実施は、次年度以降に継続する。

本企画経費は、「仮払金」扱いとなっている。

「いやしのビル」計画の企画・推進

山本 IRI 理事長を中心に、IRI の本拠ともする、(仮称)「いやしのビル」構想を 10 年以上前から提唱してきた。下記、都心「いやしのビル」計画を企画・推進し、実現する。地方にもフランチャイズ方式などで普及さす。

位置付け・所管・「いやしのビル」企画委員会の設置・予算処置

・本計画は、IRI 定款の(事業)第 5 条(1)②に定める、「保険、医療又は福祉の増進を図る研究と成果の普及事業」等に位置付けた。

・IRI 情報研究センター内に、「いやしのビル」企画委員会(委員長 山本幹男 IRI 理事長・IRI 情報研究センター長)を 2013 年に設置し、本件をこれが所管している。目的のための最適な計画、必要な法務・財務も含めて研究し、企画・実行した。

・この実現のために、IRI の準備金(移転等)を活用する。必要に応じ下記の必要な借入れを起こす。

・IRI 総会は、本件の具体化は理事会に一任した。

都心「いやしのビル」計画 概要

1. 「(仮称) いやしのビル」を都心の駅 5 分以内程に建設する。
2. 建設用土地(商業地) 1,000 坪程を入手する。地主・企業・公共団体等の協力を得る方法も視野に入れる。
3. そこに、付加価値付のビルを建築する。
4. その内の、多くの部分は、「いやされたい方」にお住み頂く(この場合、初期投資の全部または大半を

回収出来る。また、ビルの管理費の一部が確保できる)。他の良い方法も模索する。

5. 残りのスペースには、「いやしたい方」(統合医療機関、代替医療、IRI などを含む)や必要施設(会議室、スーパーなど)にご利用頂く。外来者にも開放する。(この事により、ビル運営費などが捻出できる。)

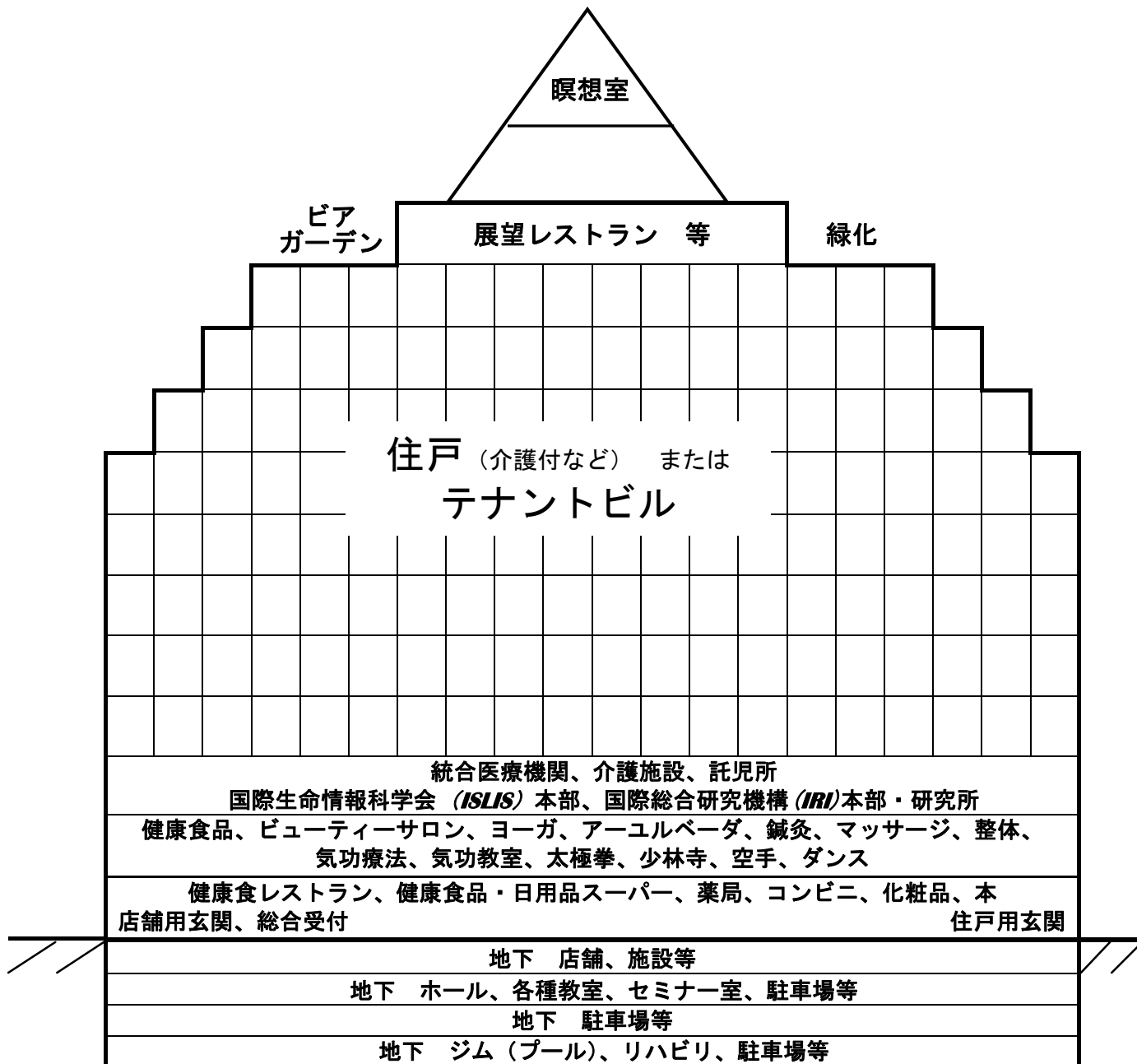
6. 企画・設計・土地・建物・諸費等の初期投資額は、概算数百億円規模となる。

7. この資金の大半は金融機関からの融資を受ける(大部分は数年の短期融資とする。場合によっては、一部は長期融資を受ける。)地主や企業・公共団体・スポンサー等の協力を得る方法も検討する。

8. 当計画の効果:

- ・「いやされたい方」・「いやしたい方」双方に喜ばれる、いやしの拠点ビルが実現し、将来の保険・医療・福祉等を先導するものとして、多大な貢献をする。
- ・雇用の促進：中規模以上のビルとなるので、このビルの企画・設計・建設・広報・開業・運営・保守の過程で、多くの雇用に促進する
- ・経済の活性化：数百億円規模の事業となるので、貢献する。

(仮称)「いやしのビル」 概念断面図



本構想の権利は NPO 法人国際総合研究機構(IRI)が所有しています。 禁無断類似 転載・企画・設計・建設

情報・研究センター 報告 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

- ・「いやしのビル」計画は前の本部の項に記した。
- ・脳機能変化の研究 脳波など使用による脳機能変化の研究を継続した。
- ・統合医療・代替医療の評価研究
気を入れた生体試料のバイオフォトン・蛍光やガスの放射強度に関する研究。
気功師等が非接触で気等を入れた、きゅうりの切口から放射されるフォトンやガスの放射強度が対照群と比し、統計的有意に変化する事に関する研究を継続発展させた。
- ・潜在能力等の研究 人間の潜在能力に関する実験的研究と普及を精力的に継続した。
(1)2013.4 研究論文「瞑想者のキュウリへの非接触効果」、(2)2015.5 研究論文「ピラミッド型構造物が関与した特異な非接触効果の発見」、(3)2016.6 研究論文「ピラミッド型構造物による未知なるフォースの発見」、(4)2018.3 研究論文「キュウリの季節に依存した生体反応リズムの発見」、(5)2018.4 研究論文「キュウリ切断面から放出されるガス濃度と成長軸の関係」に関する研究論文が外国誌に掲載された。引き続き、(6)(7)の研究論文も、現在、外国誌に投稿準備中である。
- ・生体計測サービス 健康に関わる製品やサービスなどの心身への影響を、生体計測を用いて実証する生体計測サービスを継続実施した。
- ・テレビ番組制作に対する支援 テレビ番組制作に対する支援をした (TBS や Abema TV 等)。
- ・人間サイエンスの会 超党派国会議員による人間の「潜在能力」や「地球の未来」に関する研究討論を行う国会議員連盟「人間サイエンスの会」の講演会 (一般人の参加も可) の共催・企画・運営支援は、主として国会議員会館内での開催が、2015 年 4 月に創立より 18 年で 173 回となった。この講演会は、その後、議員会館の使用が困難などで、中断中。2018 年 1 月に、講演会のなんらかの形での再開を議連会長より申し入れられ、検討中。
- ・IRI-College 「IRI-College」の「潜在能力研究科」E-講座を開講「脳を知ろう！」を継続中。大学教授クラスの参加者も得ている。他のテーマを立ち上げる方向も検討中。
- ・統合医療・看護・介護・福祉とその研究・教育・普及
本事業に取り組み、訪問看護・訪問介護などに関する研究・教育・普及など可能な事から実施する団体との協力体制を築く。
- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
- ・「第 44 回」2017 年 8 月 25 日 (金) ~28 日 (月) 静岡県 伊豆の国市 伊豆長岡温泉「おおとり荘」にて、伊豆の国市の公式後援を得ての開催を共催し、支援した。
当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.36, No.2 の製作支援を行った。
- ・「第 45 回」2018 年 3 月 10 日(土)・11 日(日) 東邦大学 医学部 3 号館 にての開催を共催し、支援した。
当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37, No.1 の製作支援を行なった。

- IRI 創造未来研究所 2013 年 6 月 1 日付で設立した 所長 木戸マミ、 副所長 木戸義勇
趣意骨子：多領域の専門知識と社会の動向に関する情報を基に、科学的、全人間的視点および直感から未来の予測やモデルを考え、創造的将来の実現を目指すことを目的とする。
昨年度に引き続き、研究を継続中。
- IRI 北杜健康研究センター 2013 年 10 月 1 日付で設立した 理事長 高橋武生
趣意骨子：山梨県北杜市を中心として、健康法を研究開発し・実施し、普及を図る。
昨年度に継続し、活動を継続中。
- IRI-理論物理学研究所 2015 年に 種市 孝 IRI 会員 (ISLIS 会員) を所長として、
IRI 情報研究センター内に新設した。
設立趣旨：理論物理学の研究を通じて、宇宙の構造、心身問題の解明に寄与する。
- 幸福社会研究所(WHI) (2012 年 6 月創立)
一昨年度、理念創りとして、「地球幸福憲章」を、20 回程の討論会・検討会の開催やネット上での議論を活発に実施し、起案した。それを「IRI 幸福社会研究所創立 2 周年記念「地球幸福憲章」検討会」・「IRI 幸福社会研究所の総会」に諮り、確定させた。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

その後の「地球幸福憲章」の普及・組織活動などは、NPO-IRI から独立した、上部団体に属さない「地球幸福憲章ネットワーク」の「世界本部」や「日本本部」が実施することとした。
その組織が、高名な提唱者や賛同者を集め、2014.9.9 に学士会館にて発表会と記者会見を実施した。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

平成29年度 事業報告
平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 報告

IRI 弘前支部は、青森県内施設を中心に遠隔画像診断支援事業を行っているが、2015年10月に仙台厚生病院の読影支援が終了して以来、収益が悪化した状況が続いている。

今年度は既存の青森内医療機関からの依頼件数は増加したものの、県内の施設の経営環境も良いとはいえ、拡販するも県内新規施設数の拡大には至らなかった。

以上

平成29年度 決算報告
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
IRI 弘前支部・H29年度事業決算書

分類	科目	収入金額	支出金額
売上高	売上高(読影業務受託費)	¥6,248,000	
	売上高(その他)	¥0	
	売上金額合計	¥6,248,000	¥0
売上原価	売上原価(対医師業務謝金)		¥5,399,506
	売上原価(その他)		¥0
	売上原価合計	¥0	¥5,399,506
販売費・ 一般管理費	人件費		¥194,400
	IRI本部経費分担金		¥150,000
	支払手数料		¥19,872
	家賃		¥0
	保守費		¥0
	預り金(源泉税)		¥550,970
	仮受金		¥0
	事務用品費		¥0
	諸会費		¥0
	販売費・一般管理費合計	¥0	¥915,242
営業外収益	受取利息		
	受取利息合計	¥0	¥0
利益	営業利益		¥-66,748
	経常利益		¥-66,748

平成29年度 事業報告
平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

長谷支部 報告

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	平成29年4月1日～平成30年3月31日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	3名
受益対象者の範囲、人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収入	0千円
支出	0千円

内容： 長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行った。

- ・月一回 福祉施設等に於いてボランティアで気功施療。
- ・月二回 岐阜県関市で気功施療会に参加。
- ・その他長谷地域内で食育などの調査研究。
- ・東京などで開催される各種研究会などへ参加。

月一回開催していた気功施療勉強会が講師の都合により、平成23年5月を持って休止することとなった。それに伴い収入がなくなり、活動に影響が出た。引き続き、個人が負担することにより、岐阜県関市での気功施療会、各種研究会など学会への参加費も自費参加することとなった。

1.2 平成29年度 決算報告 (活動計算書)

<理事会/総会 審議事項②>

(法第28条第1項関係様式)

平成29年度 活動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額 (単位: 円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	70,000	
・独自会費	90,000	160,000
2 受取寄附金		
・受取寄附金	546,000	546,000
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	9,739,090	
・保健、医療、福祉事業収益	6,248,000	
・国内・国際研究交流事業収益	3,800,000	19,787,090
4 その他収益		
・受取利息	1,486	
・雑収入	166,000	167,486
経常収益計		20,660,576
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
委託・協力経費	15,413,766	
旅費交通費	36,824	
消耗品	1,447,355	
会議費	65,247	
通信・光熱・水道費	281,849	
借料・移転費等	1,869,948	
印刷・成果発表経費	1,277,560	
減価償却	104,904	
雑費	1,176,446	
その他の経費計	21,673,899	
事業費計		21,673,899
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当等	211,250	
人件費計	211,250	
(2) その他経費		
委託・協力経費	1,539,200	
消耗品	2,944,369	
会議費	566,841	
通信・光熱・水道費	784,506	
借料・移転費等	1,623,084	
租税公課	0	
減価償却	0	
雑費	157,291	
その他の経費計	7,615,291	
管理費計		7,826,541
経常費用計		29,500,440
当期経常増減額		-8,839,864
III 経常外収益		
1 準備金		
・準備金(移転等)前期繰越	38,100,000	
2 新事業準備借入金	0	38,100,000
経常外収益計		38,100,000
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	29,250,000	
・準備金支出額	0	
2 新事業準備仮払金	0	29,250,000
経常外費用計		29,250,000
当期正味財産増減額		10,136
前期繰越正味財産額		280,832
次期繰越正味財産額		290,968

1.2 平成 29 年度 決算報告 (貸借対照表)
(法第 28 条第 1 項関係様式)

平成 29 年度貸借対照表
平成 30 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	25,907,900	
前払い金		
仮払い金	5,322,308	
未収金	1,761,897	
流動資産合計		32,992,105
2 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	27,598	
固定資産合計		27,598
資産合計		33,019,703
II 負債の部		
1 流動負債		
・前受け金		
・未払い金	3,478,735	
流動負債合計		3,478,735
2 固定負債		
・負債	0	
固定負債合計		0
3 準備金		
・準備金(移転等)	29,250,000	
		29,250,000
負債合計		32,728,735
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		280,832
当期正味財産増減額		10,136
正味財産合計		290,968
負債及び正味財産合計		33,019,703

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産						
什器備品	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,327,761	27,598
合計	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,327,761	27,598

1.2 平成29年度 決算報告 (財産目録)

(法第28条第1項関係様式)

平成29年度財産目録
平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金 (情報・研究センター)	39,373	
手元現金 (NS)	0	
手元現金 (IRI-College)	17,576	
みずほ銀行普通預金① (小口)	2,592,723	
みずほ銀行普通預金② (大口)	1,041,096	
みずほ銀行普通預金③ (引落用1)	294,611	
みずほ銀行普通預金④ (引落用2)	22,372	
みずほ銀行普通預金⑤ (IRI-College)	318,674	
みずほ銀行普通預金⑥ (NS部会)	357,951	
みずほ銀行普通預金⑦ (弘前支部)	178,899	
みずほ銀行普通預金⑧ (幸福科学研究所)	246,068	
ゆうちょ銀行①	74,032	
ゆうちょ銀行② (IRI-College)	605,209	
ゆうちょ銀行③ (幸福科学研究所)	15,717	
ゆうちょ銀行④ (NS部会)	89,990	
上伊那農業協同組合普通預金	290	
京葉銀行定期預金	10,002,353	
都民銀行定期預金	10,010,966	
仮払い金 (新事業準備)	5,322,308	
未収金 (NS)	0	
未収金 (情報・研究センター)	1,200,000	
未収金 (弘前支部)	561,897	
流動資産合計		32,992,105
2 固定資産		
有形固定資産		
什器備品		
3Dプリンター	27,598	
固定資産合計		27,598
資産合計		33,019,703
II 負債の部		
1 流動負債		
前受け金	0	
未払い金		
情報・研究センター事業委託費・経費	2,925,667	
弘前支部読影料・読影委託料・手数料等	553,068	
流動負債合計		3,478,735
2 固定負債		
負債	0	
固定負債合計		0
3 準備金		
準備金 (移転等) (当年度 8,850,000円減)	29,250,000	
		29,250,000
負債合計		32,728,735
正味財産合計		290,968

1.3 平成29年度 監査報告 <理事会/総会 審議事項③>

北川壽昭監事と大山玄監事による、特定非営利活動法人 国際総合研究機構の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査が既に終了し、適正な運用がなされている事が承認された。監査報告書が最終項に添付されている。

1.4 平成30年度 事業計画 <理事会/総会 審議事項④>

(法第10条第1項関係様式)

平成30年度 事業計画書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の計画

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なう。
- (2) 保健、医療、福祉事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等を行なう。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なう。
また、ITを活用した、種々の交流支援事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	100	国内外一般人多数	50,000
保健、医療、福祉事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	80	国内外一般人多数	35,000
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催、関連出版等支援、等 また、ITを活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	60	国内外研究者、一般人多数	18,750

平成30年度 事業計画
平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

本部 ならびに 情報・研究センター 計画

本部 計画 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進する。

他法人の設立推進 「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性や大型スポンサー候補等との関係ともすり合わせ、今年度を始め、必要に応じ設立する事を目指す。名称は、「IRI財団」 や 「科学文化健康財団」 等がリストアップされている。他法人を設立しても、現在のNPO法人は残す必要が弘前支部の活動などで濃厚となっている。
・IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、予算処置を含め継続する。
・IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

ITを活用した種々の交流支援 当機構や諸団体の活動には資金が必要で、クラウド・ファンディングなど、IT技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施する。

情報・研究センター 計画 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

・資金が導入されれば、本年度より、先端科学技術等に関する研究・教育・普及・推進・支援を新規に実施する。

- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
- ・「第46回」2018年8月24日(金)～27日(月)高野山近く 天然温泉「ゆの里」にて、開催を共催し、支援する。
当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37, No.2の製作支援を行なう。
- ・「第47回」2019年3月15日(土)・16日(日) 東邦大学 医学部 3号館 にての開催予定(日にち会場が今後変更となることもある)を共催し、支援する。
当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.38, No.1の製作支援を行なう。

・その他は、前年度を継続する。

平成30年度 事業計画
平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 計画

1. 依頼件数増により一定の利益を上げられることが見込まれるため、今期は既存施設の深掘り及び新規施設開拓により前年度比20%増の売上を目指す。
今後とも、質の高い読影レポートの提供により、着実に依頼件数を増やし、地域放射線医療に貢献していく。

2. 今期の計画

- 1) 読影の依頼を受ける施設数を現状の20施設から30施設に増大する。読影依頼件数の急減等の事態に備え、引き続き依頼施設の増加に尽力する。
- 2) 遠隔読影に使用しているコンピュータシステムのセキュリティ向上、システムの増設等に加え、引き続き事務作業等の効率化を図る。

長谷支部 計画

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	平成30年4月1日～平成31年3月31日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等

従事者の数	10名
受益対象者の範囲、人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収入	110千円
支出	110千円

内容：長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行う。

- ・月一回 福祉施設等に於いてボランティアで気功施療を行う。
- ・月二回 岐阜県関市で気功施療会に参加。
- ・その他長谷地域内で食育などの調査研究。
- ・東京などで開催される各種研究会などへ参加。

1.5 平成30年度予算計画
(法第28条第1項関係様式)

<理事会/総会 審議事項⑤>

平成30年度 活動予算書
平成30年4月1日~平成31年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額 (単位 : 円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	200,000	
・独自会費	2,000,000	2,200,000
2 受取寄附金		
・受取寄附金	20,000,000	20,000,000
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	70,000,000	
・保健、医療、福祉事業収益	80,000,000	
・国内・国際研究交流事業収益	8,000,000	158,000,000
4 その他収益		
・受取利息	10,000	
・雑収入	300,000	310,000
経常収益計		180,510,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	35,000,000	
人件費計	35,000,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	70,000,000	
旅費交通費	5,000,000	
消耗品	6,000,000	
会議費	6,000,000	
通信・光熱・水道費等	4,000,000	
借料・移転費等	3,000,000	
印刷・成果発表経費	5,500,000	
減価償却	2,000,000	
雑費	8,000,000	
その他の経費計	109,500,000	
事業費計		144,500,000
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当等	8,000,000	
人件費計	8,000,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	6,000,000	
消耗品	3,000,000	
会議費	1,000,000	
通信・光熱・水道費等	6,000,000	
借料・移転費等	5,000,000	
租税公課	1,000,000	
減価償却	1,000,000	
雑費	5,010,000	
その他の経費計	28,010,000	
管理費計		36,010,000
経常費用計		180,510,000
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
1 準備金		
・準備金(移転等) 前期繰越	29,250,000	
2 新事業準備金(借入含)	50,000,000,000	50,029,250,000
経常外収益計		50,029,250,000
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	29,250,000	
2 新事業準備金(仮払含)	50,000,000,000	50,029,250,000
経常外費用計		50,029,250,000
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		290,968
次期繰越正味財産額		290,968

<理事会/総会 審議事項⑥>

平成30年度 活動予算書
平成30年4月1日~平成31年3月31日
(参考資料 実施指針)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額 (単位: 円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	100,000	
・独自会費	500,000	600,000
2 受取寄附金		
・受取寄附金	70,000,000	70,000,000
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	21,000,000	
・保健、医療、福祉事業収益	20,000,000	
・国内・国際研究交流事業収益	4,400,000	45,400,000
4 その他収益		
・受取利息	10,000	
・雑収入	300,000	310,000
経常収益計		116,310,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	42,500,000	
人件費計	42,500,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	45,000,000	
旅費交通費	50,000	
消耗品	4,000,000	
会議費	1,000,000	
通信・光熱・水道費等	2,000,000	
借料・移転費等	3,000,000	
印刷・成果発表経費	2,000,000	
減価償却	200,000	
雑費	4,000,000	
その他の経費計	61,250,000	
事業費計		103,750,000
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当等	8,000,000	
人件費計	1,000,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	2,000,000	
消耗品	3,000,000	
会議費	500,000	
通信・光熱・水道費等	1,500,000	
借料・移転費等	2,000,000	
租税公課	150,000	
減価償却	100,000	
雑費	2,310,000	
その他の経費計	11,560,000	
管理費計		12,560,000
経常費用計		116,310,000
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
1 準備金		
・準備金(移転等)前期繰越金	29,250,000	
2 新事業準備金(借入含)	1,000,000,000	1,029,250,000
経常外収益計		1,029,250,000
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	29,250,000	
2 新事業準備金(仮払含)	1,000,000,000	1,029,250,000
経常外費用計		1,029,250,000
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		290,968
次期繰越正味財産額		290,968

1.6 役員選出

<理事会/総会 審議事項⑦>

平成30年度 役員名簿
(平成30年7月1日から平成31年6月30日まで)

平成30年6月23日総会版
特定非営利活動法人 国際総合研究機構

役名	氏名	所属・肩書	備考
会長 (理事外)	高良 和武	(財)総合科学研究機構 理事長、(学)筑波研究学園 会長、 東京大学 名誉教授、 元 科学技術庁 参与	元 理事長 (名誉職)
理事長	山本 幹男	IRI 生体計測研究所 所長、国際生命情報科学会(ISLIS) 理事長(元会長)・編集委員長、元 東邦大学理学部 客員教授 元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長、 元 ワシントン大学 にて研究	情報・研究 センター長
副 理事長	河野 貴美子	IRI 健康科学研究所 所長、IRI 生体計測研究所 副所長、 国際生命情報科学会(ISLIS) 副会長(元会長)・事務局長、 元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学	
理 事	池上 直彦	伊那市議会議員、 元 長野県伊那市 長谷総合支所長、元 産業振興課長 元 伊那市観光協会観光 プロモーター	長谷 支部長
理 事	鈴木 エドワード	鈴木エドワード建築設計事務所 代表取締役	
理 事	ベッカー カール ブラッドリー (BECKER CARL BRADLEY) (別華 薫)	京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授	京都大 支部長
理 事	三宅 俊明	PSP 株式会社 取締役 会長	弘前 支部長
理 事	向井 俊博	(有)コパン 代表取締役、 元 富士通デジタル・テクノロジー(株) 取締役	
理 事	高木 治	IRI 情報研究センター 科学部長、 元 埼玉短期大学 情報メディア学科 准教授	事務局長
監 事	北川 壽昭	国際生命情報科学会(ISLIS) 幹事、H・K 朝日研究所 所長、 元 日本電気 医療機器事業部エグゼクティブエキスパート	
監 事	大山 玄	IRI 主任研究員、多摩リハビリテーション学院 非常勤講師、 元 郵政省電波研究所 主任研究官、 元 徳島大学医学部 講師	

前年度からの役員変更： 理事追加 高木 治

幹事 (役員外)：

IRI 生体計測研究所 副所長 小久保 秀之

IRI 情報研究センター 技術部長 世一 秀雄

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (IRI:アイリ) 組織表 2018年6月23日

<p>■ IRI 会長 (名誉職) 高良 和武 ((財)総合科学研究機構 理事長、(学)筑波研究学園 会長、東京大学名誉教授、元科学技術庁 参与)</p>	<p>■ IRI 長谷支部 (従たる事務所) 支部長: 池上 直彦 理事 (伊那市議会議員、元 長野県伊那市 長谷総合支所長、 元 伊那市観光協会観光 プロモーター) 電話: 0265-98-2211, Fax: 0265-98-2029 E-mail: iina00093.ikegami@gmail.com 支部: 〒396-0401 長野県伊那市長谷非持 2654</p>
<p>■ IRI 理事長 山本 幹男 (元 東邦大学 客員教授、 元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長、 元 ワシントン大学にて研究、 元 千葉大学 客員助教授、元 東北大学 講師) 電話 090-9232-9542 Fax: 043-255-9143 E-mail: nsnpoi@gmail.com</p>	<p>■ IRI 弘前支部 (従たる事務所) 支部長: 三宅 俊明 理事 (PSP 樹代表取締役 会長) 〒106-0031 港区西麻布 4-16-13 西麻布2森ビル (8階 PSP内) 電話: 03-3406-2310, Fax: 03-5485-2479 E-mail: miyake.t@psp.co.jp 支部: 〒036-8003 青森県弘前市駅前町 15-3 武田ビル 電話: 0172-31-0818, Fax: 0172-31-0828 E-mail: s.matsuyama@psp.co.jp</p>
<p>■ IRI 副理事長 河野 貴美子 (IRI健康科学研究所所長、 国際生命情報科学会 副会長、元 日本医科大学)</p>	<p>■ IRI 京都市支部 支部長: 別華 薫 (BECKER, Carl Bradley) 理事 (京都 大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授) 〒606-8501 京都市左京区近衛町 京都大学 医学部内 電話: 075-753-9486, Fax: 075-753-9486 E-mail: becker.carlbradley.5e@kyoto-u.ac.jp</p>
<p>■ IRI 本部 (主たる事務所) (IRI連絡先 当欄下記) ■ IRI 情報・研究センター 本部長・センター長: 山本 幹男 理事長 事務局長: 高木 治 IRI情報研究センター 科学部長 実務主任: 古谷 祐子 IRI連絡先 〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 4階 電話: 043-255-5481, Fax: 043-255-5482 E-mail: iri@a-iri.org http://www.a-iri.org/iri-jp/</p>	

海外支部

<p>■ IRI 北戴河支部 (中国河北省) 担当: 王 鳳桐 主任研究員 (中国 河北省 医療気功病院 院長) 河北省医療気功病院 内 中国 河北省 北戴河東経路 198 号 電話: +86-335-4025753 Fax: +86-335-4025754 日本連絡先: IRI 情報・研究センター</p>

研究組織等

<p>■ IRI 生体計測研究所 (IRI情報・研究センター内) 所長: 山本 幹男 理事長 (元 東邦大学 理学部 客員教授、 元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長)</p>	<p>■ IRI 幸福社会研究所 (連絡先: IRI情報・研究センター内) 所長: 伊藤 武彦 和光大学 教授</p>
<p>■ IRI 生体放射研究室 (IRI情報・研究センター内) 所長: 山本 幹男</p>	<p>■ IRI 生命哲学不知火研究所 E-Mail: ryozan@stannet.ne.jp 所長: 北岡 秀二 (国際生命情報科学会 特別顧問、 人間サイエンスの会 顧問、元 法務政務次官・参 議院議員・参議院文教科学委員長)</p>
<p>■ IRI 健康科学研究所 (IRI情報・研究センター内) 所長: 河野 貴美子 副理事長 (元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学)</p>	<p>■ 創造未来研究所 〒300-2622 茨城県つくば市要 315-85 電話: 029-864-2091 E-Mail: sozo-mirai@hotmail.co.jp 所長: 木戸 マミ (国際生命情報科学会 常務理事、 元 東北学院大学 教授)、副所長: 木戸 義勇</p>
<p>■ IRI 健康法普及会 (IRI健康科学研究所付属) 会長: 伊藤 正敏 (東北大学 名誉教授、 仙台画像検診クリニック 院長)</p>	<p>■ IRI 倫理委員会 委員長: 河野 貴美子 IRI副理事長</p>
<p>■ IRI 北杜健康研究センター 理事長: 高橋 武生</p>	
<p>■ IRI 理論物理学研究所 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 1-35-22 E-Mail: sanshiro201@dream.bbexcite.jp Fax: 042-356-0283 所長: 種市 孝 (元 東京大学、電気通信大学)</p>	

<p>■ IRI-College (アイルカレッジ) 学 長: 山本 幹男 理事長 http://iri-college.org/ 副学長: 河野 貴美子 副理事長 E-mail: npo.iri.college@gmail.com</p>	<p>■ IRI 自然愛好会・自然研究会 (IRI情報センター内) 会長: 世一 秀雄 (IRI情報研究センター 技術部長) E-mail: yoichi@npo-iri.org</p>
---	---

<p>■ IRI-NS 部会 (連絡先右欄) (残務整理中) 部会長: 河野 貴美子 副理事長 (「人間サイエンスの会」 世話人代表、元 東邦大学 理学部 非常勤講師、 国際生命情報科学会 副会長、元 日本医科大学) E-mail: kawano@a-iri.org http://NPO-IRI.org</p>	<p>■ IRI-NS 部会 実務担当 (残務整理中) 山本 景 (「人間サイエンスの会」世話人代表代理) 所在: 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 電話: 080-5401-3837, Fax: 043-255-9143 E-mail: nsnpoi@gmail.com</p>
--	---

<p>■ IRI 「いやしのビル」企画委員会 委員長 山本 幹男 IRI理事長 電話 090-9232-9542 E-mail: nsnpoi@gmail.com</p>
--

関連団体

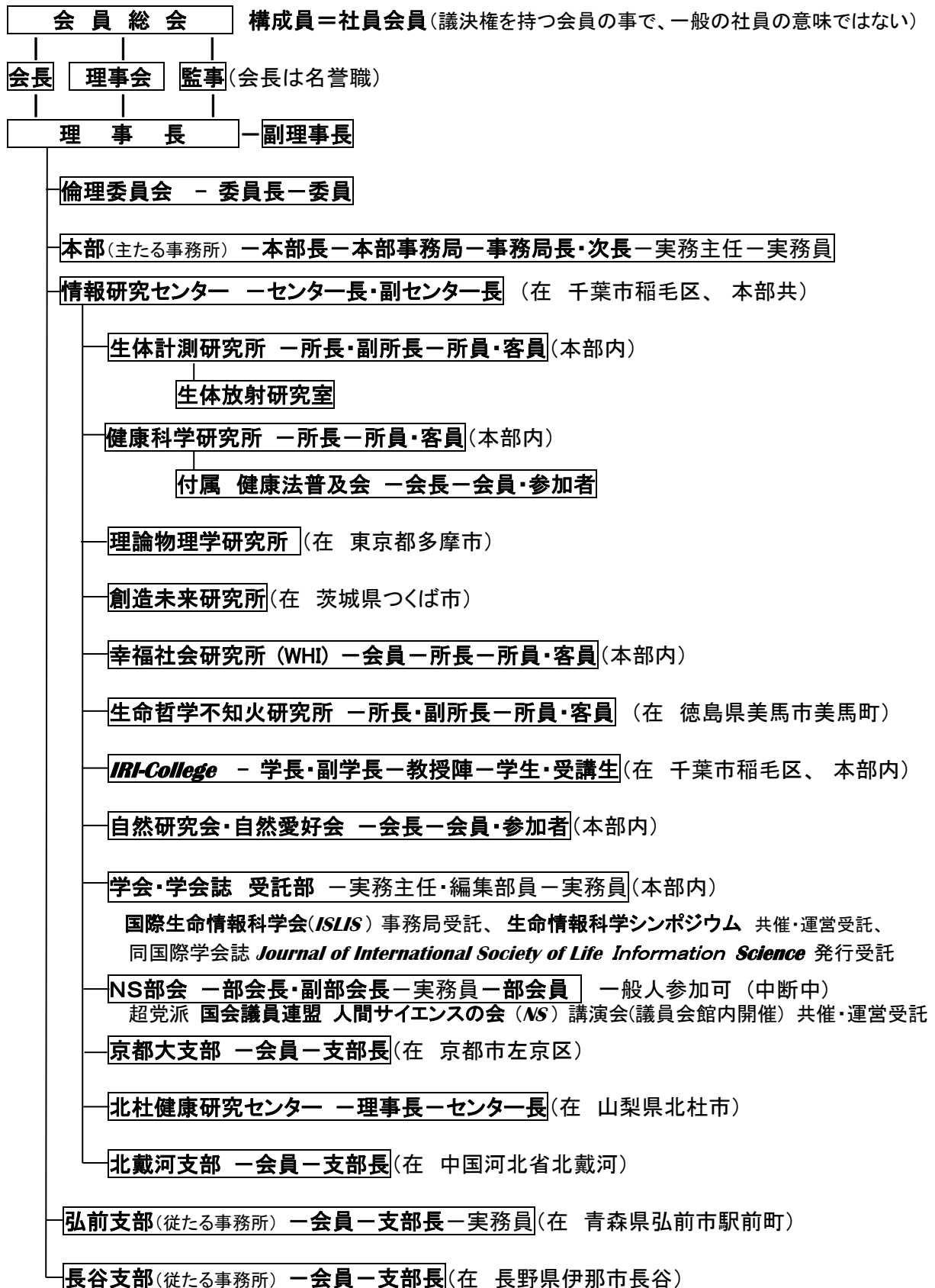
<p>事務局受託: 「国際生命情報科学会 (ISLIS)」 http://www.islis.a-iri.org/ islis@a-iri.org IRI情報・研究センター内 共催・運営受託: 超党派国会議員連盟「人間サイエンスの会」(NS) http://NPO-IRI.org</p>

NPO - International Research Institute (NPO-IRI)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (略称:NPO-IRI、アイリ)

組 織 図

2018 年 6 月 23 日 版



平成29年度 監査報告書

特定非営利活動法人 国際総合研究機構
理事長 山本 幹男 殿

平成30年6月4日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の活動報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査を行った。

監査の結果は下記の通りである。

記

1. 事業は本会の目的を達成するために、事業計画に基づき適正に執行されていることを認める。
2. 財務は本会定款に従い本会事業のために正しく運営されていることを認める。
3. 活動計算書、貸借対照表、および財産目録は、本会定款に従い本会の財産および収入支出状況を正しく示しているものと認める。

以上

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

監事

北川 寿昭



監事

大山 玄

